

みんな子どもだった!?

19

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

NHKの連続テレビ小説「おかえりモネ」で森林組合が舞台となり、林業に注目が集まっているね。仙台市の宮城中央森林組合で働く阿部政俊さんは、スノーボードの元プロだったんだ。どんな子どもだったのかな。

小学4年のとき、泉ヶ岳のスキー場でスノーボードを初めて体験。スピード感満点で「うおーっ」と興奮したのを覚えています。ボードを操って雪山を滑り降りる魅力に取りつかれ、父に頼んでスキー場に連れて

林業の仲間みんな、働いているときの表情が生き生きとしています。すがすがしい空気の中、数十年後を見据えて山を整備する仕事。やりがいがあります。

行ってもらいました。



小5でバジテストという技術認定テストを受けました。ロングターンという技が難しかったのですが、一生懸命練習

中学と高校はバドミントン部で、活動が忙しくスノーボードから離れました。大学生になり、友達に誘われたのがきっかけでスノーボードを再開。楽しか

「好きこそ物の上手なれ」と言うように、何かに熱中し、打ち込んだ経験は、その後の人生で役に立つと思います。(4・5面に特集)



あべ・まさとし 仙台市出身、東北文化学園大卒。スノーボードのプロとして活動後、仙台市泉区の宮城中央森林組合に入り林業に従事(じゅうじ)する。

阿部 政俊さん(33歳・宮城中央森林組合職員)

った小学生時代を思い出した。のめり込みました。スキー場でインストラクターをしながら滑る日々。「もっと上手になりたい」との思いが強くなり、プロ資格を取りました。アメリカやカナダにも遠征しました。オリンピックを目指したこともあったんですよ。



年齢を重ね体力的につくなくなったので、違う道を歩むことに。周りに勧められたこと、スノーボードと同じく山をフィールドにしていることなどから、林業の道に入りました。木を切るとき、狙った方向へうまく倒せると「よっしゃあ」とうれしくなりますね。

今週の注目ニュース

◇9日(土) 仙台牛の日

おいしい仙台牛をたくさん味わってもらおうと、全農宮城県本部などが制定したよ。10月9日を4けたで表した1009の読み「せんきゅう」と、仙台牛を略した「仙牛」との語呂合わせなんだって。

きょうの紙面

- 2面 ホップ・ステップ・プログラミング
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 緑の資源 次世代へつなぐ
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー